

## 職業能力評価基準(コンビニエンスストア業)レベル区分の考え

レベル	レベル区分の目安
レベル 4	<p style="text-align: center;">〔店長または店長代理が勤まるレベル〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コンビニエンスストアの管理運営責任者として、店舗運営に関する総合的な判断を行うことができる</li> </ul>
レベル 3	<p style="text-align: center;">〔ベテラン・スタッフとして売上拡大や従業員教育に貢献できるレベル〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発注・接客・販売促進等を通じてコンビニエンスストアの売上拡大に貢献するとともに、新規従業員の教育・指導の役割等を担うことができる</li> </ul>
レベル 2	<p style="text-align: center;">〔コンビニエンスストアの中堅スタッフとして、店内業務全体を一通りマスターしたレベル〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商品管理、商品陳列、レジ接客、清掃などコンビニエンスストアにおける主要定例業務の全てを独力で遂行することができる</li> </ul>
レベル 1	<p style="text-align: center;">〔コンビニエンスストアの新人スタッフとして、業務を習得途上にあるレベル〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商品陳列、レジ接客、清掃などコンビニエンスストアにおける基礎的な業務を習得し、指示・助言を踏まえて確実に遂行することができる</li> </ul>

### コンビニエンスストア業におけるキャリア形成の例

